

生涯学習
つうしん

国見町教育委員会生涯学習課
(観月台文化センター)
☎(585)2676 FAX(585)2707
E-mail shogai@town.kunimi.fukushima.jp
https://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/kangetsudai/

リュッケじかん
LYKKE 時間

第18話「本音が出せる、おうち時間」

子育て中のみなさんから、「新型コロナウイルスと共に生きる今、家庭での子どもとのかかわりはどうしたらいい?」という質問が多く寄せられます。本当に不安の多い日々が続きますね。まずは子どもも大人も、たくさんの不安と共に生活しているという事実を受け止めてみましょう。不安を抱え生活するということは、とても疲れるものです。この疲れを無かったことにして頑張ろうとすると、心身への負担が蓄積し不調を引き起こすことがあります。子どもが本音で思いを伝えることができる、そういった時間を家庭の中で大切に育んでいきましょう。

子どもも大人も
疲れたら一休み

文:柴田千賀子(国見町出身の保育研究者。仙台大学准教授)

観月台文化センター常設展示
石原コレクション
作品紹介 Vol.20

題名「静物」
作家 ジル・サックシック
紙・鉛筆
各145×190mm

国見っ子わんぱく広場「夏休み特別体験活動」

子どもたちが夏祭りを満喫



よく狙って!!

国見っ子わんぱく広場が8月11日と12日、観月台文化センターで夏休み特別体験活動を行いました。社会福祉協議会と町寿クラブ連合会の協力により、夏祭りと題して、子どもたちはわりばし射的やお菓子釣り、紙ヨーヨー作り、迷路など手作りの縁日を体験。今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、活動人数を制限して開催となりました。子どもたちは2



会場にはプラズマカーも登場!

日間のうち1日のみの参加でしたが、それぞれのコーナーを元気にいっぱい体験し、夏休みの楽しい思い出の1ページをつくりました。

二学期合同学習「交通安全教室」

交通事故を防ぐために

阿津賀志学級・成人学級・女性教室合同の三学期学習「交通安全教室」が7月30日、観月台文化センターで行われました。今回、桑折分庁舎交通課からの「歩行者との交通事故を防ぐ」と題した事故防止の講話や映像を見た学級生は交通事故に対する危機意識を高めました。また、反射材の有効性を知ってもらおうと、町交通安全母の会が反射材を着用した服装



交通事故防止へ一人ひとりが気をつけよう

ベーゼンドルファー真夏の特別試弾会

名器の音色を心ゆくまで堪能

恒例となったベーゼンドルファーの試弾会が8月1日と2日、観月台文化センターで開催され、定員となる17組の申込みがありました。試弾会では、熱心に弾きこみをする方や家族でセッションを楽しむ姿が見られました。参加者は、演奏機会とともにホールの音響効果に満足していました。



ホールに素敵な音色が響き渡りました

短期スイミングスクール

集中レッスンで泳力向上!



上手に飛び込めるかな

短期スイミングスクールが8月3日から6日、伊達市の「福島スイミングスクールほぼら」で行われました。スクールでは、屋内プールでそれぞれの泳力に合わせた3つのクラスに分かれ、専門スタッフから熱心な指導が行われました。参加した児童たちは、4日間の短期間で、泳ぎを向上させていました。

子ども司書講座「POPづくり」

好きな本を紹介しよう

町の読書リーダー子ども司書を育成する子ども司書講座の第3回目が8月8日、観月台文化センターで行われました。今回は、公立藤

田総合病院司書の佐藤千里さんを講師に迎え、本を紹介するPOP(広告)についての講話を受けました。その後の実技では、各自で持ち寄った紹介したいお薦め本のPOPを作成しました。作成中は、試行錯誤しながらも、講座生同士でアイデアを出し合いながら取り組み、個性あふれるオリジナルのPOPが完成し



POP作成中

私のお薦めの一冊④

県北中学校 講師 佐々木 茉耶

「星の王子さま」
サンテグジュペリ 著
内藤ありさ 訳



みなさんは「星の王子さま」を読んだことがありますか。200以上の国と地

域の言葉に翻訳され、世界中で今なお愛され続けている作品です。日本でも、内藤灌氏をはじめとして、数多くの翻訳家によって訳されています。翻訳家によって使う言葉が変わってくるので、読み比べができることも魅力の一つですね。「大切なことは目には見えない」星の王子さまといったら、この言葉が有名です。この言葉を聞いてあなたは何を思い浮かべるでしょうか。あなたにとっての

大切なものは何でしょうか。この本をきっかけに、あらためて考えてみてください。星の王子さまは70年以上前に書かれた小説であり、名作にもかかわらず、なかなか読まずにいる人も中にはいるかもしれません。自宅過ごす時間が多い今だからこそ、見失いがちな「大切なもの」を見つけるために読んでほしい一冊です。

「第5回は県北中学校 宮下純講師より紹介します」